

高大連携講座

岐阜大学 地域科学部

〈日時〉 令和 6 年 10 月 10 日 (木) 5・6 時限

〈会場〉 大垣東高校化学実験室

〈講師〉 岐阜大学地域科学部地域政策学科 和佐田 裕昭 教授

橋本 智裕 准教授

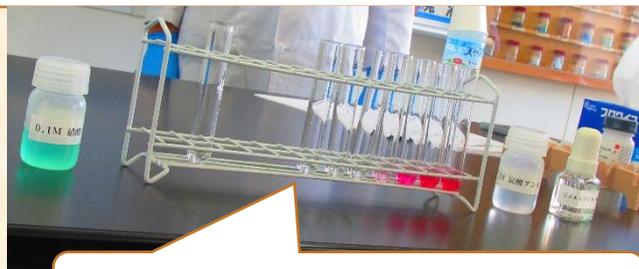
〈対象〉 理数科 2 年生

テーマ 色の变化から化学物質の存在を認識する 有ること/無いこと/見えないこと

「見えないこと」と「無いこと」は違う

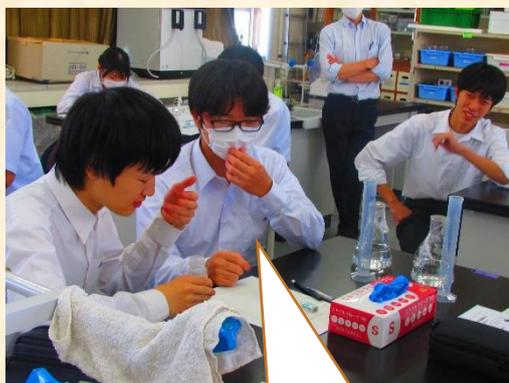


0.1 mol/L Ni(NO₃)₂ 溶液を 5 倍 5² 倍 5³ 倍……5⁷ 倍に希釈す



見えないけど多数のイオンがあるよ

まわりの状態によって見え方（現れ方）は変わる



これがアセトンの匂い



塩化コバルトは赤色!?



塩化コバルト

+

アセトン

塩化コバルト

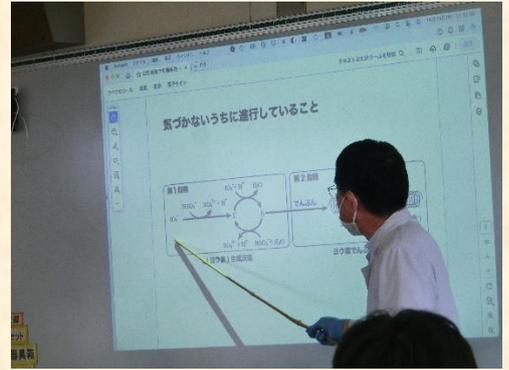
+

蒸留水

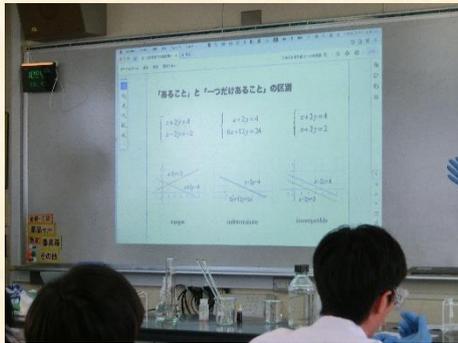
気づかないうちに進行していること



生徒実験 時計反応



「有ること」と「一つだけ有ること」の区別



「答えが1つしかない」のか

「複数答えがあるうち、都合の良い答えだけを言っている」のか

見極めることが大切

研究内容や岐大の留学プログラムについて

ありがとうございました！

